

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372201067
事業所名	グループホーム 若竹

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目：2)	評価
	自治会に加入し、行事情報を得て積極的に参加している。運営推進会議のメンバーに地区婦人会の方がいることから、住民から介護保険の相談を受けたりしている。また、地域主催の観劇会や七夕祭りに入居者と参加したり、馴染みの喫茶店では名前を声かけてもらい、店の協力で好みのメニューが楽しめるなど良好な関係が構築されている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目：3)	評価
	メンバーは地域包括支援センター職員、民生委員、地域住民、家族、入居者で、年5回開催している。議題は、活動報告や状況報告、外部評価についてなど行い、会議での意見や提案は速やかにホームの運営に反映させるよう努めている。議事録は玄関に設置し、家族等の来訪時に閲覧できるよう配慮している。	
重点項目	市町村との連携(外部評価項目：4)	評価
	市の担当者には必要に応じて報告を行ったり、来訪時に情報交換をしている。また、要望案件が採択されホーム運営に反映されている。地域包括支援センターから、市主催の虐待防止サミットに発表者として、事例報告の要請があり参加するなど、行政との協働に努めている。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目：6)	評価
	家族等の来訪時には積極的にコミュニケーションを図り、入居者の状況を伝えたり、意見や要望を聞くよう努めている。来訪が難しい家族にはメールやファックスを利用している。また、毎月「生活状況」を作成し、日常生活状況や健康状態等を家族に知らせている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		×

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	×				

1.外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2.外部評価軽減要件における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2.事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3.運営推進会議を活かした取組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4.市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6.運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注)要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。